

取扱説明書(保証書付)



このたびは、CDプレーヤーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本機は音楽CDやCD-R/RW、SD/SDHCカード、USBメモリーに収録された音源ファイルを再生するためのプレーヤーです。

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

ご注意

音源ファイルについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますので、ご使用に際しては充分ご注意ください。

目次

安全上のご注意	2、3
□免責事項について	3
□本機を長期間お使いの場合	4
特長	4
準備作業	5～7
□メディアの準備について	5
□ご使用可能なメディアについて	5
□メディア内のファイルのバックアップについて	5
□音源ファイルの準備について	6、7
各部の名称と説明	8、9
CD再生の仕方	10、11
SDカード再生の仕方	12、13
USBメモリー再生の仕方	14、15
再生の仕方(CD・SDカード・USBメモリー共通)	16
リピート・ランダム再生の仕方	17

プログラム再生の仕方	18、19
再生スピードの調節の仕方	20
著作権法について	20
コンパクトディスク(CD)について	21
組込方法	22
自動電源制御機能について	22
設定の変更の仕方	23
制御ユニットからの制御について	23
故障と思う前に	24、25
定格	26
外観寸法図	26
サポートのご案内	27
保証書	27
CD-R/SDカード/USBメモリーファイルリスト	28

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜く

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



組込機器の電源プラグをコンセントから抜く

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



SDカードやUSBメモリーは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



CD・SDカード・USBメモリー挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。



1年に1回程度は内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特種的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクターが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

長時間使用について

CDの使用時間の保証は、1,500時間です。

特長

- 本機は音楽CDやCD-R/RW、SD/SDHCカード、USBメモリーに収録された多彩な音源ファイルを再生するためのプレーヤーです。

1)豊富なメディアに対応

- ・音楽CDの他に、CD-R/RW、SD/SDHCカード、USBメモリーと、豊富なメディアに対応しており、多彩な音源ファイル（MP3、WMA）も再生が可能です。

2)ノンストップミックスCDのギャップレス再生に対応（音楽CDのみ）

- ・ダンスエクササイズやBGMなど、曲を途切れなく再生したい場合に最適です。

3)振動に強い

- ・SD/SDHCカード、USBメモリーの音源ファイル再生では、振動、衝撃による音飛びの心配がありません。

4)プログラム再生、A-Bリピート再生に対応

- ・ユーザーが設定した曲の順番で再生可能なプログラム再生や、指定した部分を繰り返し再生するA-Bリピート再生機能を搭載しています。

準備作業

メディアの準備について

本機のご使用にあたっては音楽CDやCD-R/RW、SDカード、USBメモリーを別途ご用意してください。用意するにあたっては下記の点にご注意ください。

☐ 音楽CD、CD-R/RWの準備について

- ・ CD規格で使われているロゴタイプ(右記参照)がパッケージ等に明示されたものを使用してください。
- ・ シングルCD(8cm CD)には対応していません。故障の原因になる場合がありますので使用しないでください。



☐ SDカードの準備について

- ・ SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ(右記参照)が明示されたものを使用してください。
- ・ 容量32GBまでのSD/SDHCカードに対応しています。
- ・ miniSD/SDHCカードやmicroSD/SDHCカードは使用しないでください。アダプターの仕様により動作しないものがあります。
- ・ SDXC(SD Extended Capacity)規格のSDカードには対応していません。



☐ USBメモリーの準備について

- ・ USBマストレージクラス準拠USBメモリーを使用してください。容量32GBまでのUSBメモリーに対応しています。
- ・ USBハブやSDカードリーダーは使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。

ご使用可能なメディアについて

- 一部のCD-R/RW、SDカード、USBメモリーは、本機器ではご使用頂けない場合があります。その際は別のメディアを使用したり、新しいものに取り換えてお試しください。

メディア内のファイルのバックアップについて

- ・ メディアに収録した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。万一来、大切な音源ファイルは別の記録メディア(HDD・SDカード・USBメモリーなど)にバックアップしてください。また収録内容をメモして保存しておいてください。

準備作業

音源ファイルの準備について

CD-R/RW、SDカード、USBメモリーに収録する音源ファイルについては下記の点にご注意ください。

□メディアのフォーマット(初期化)について

- ・SDカードをパソコン等でフォーマットをする場合、SDメモリーカードフォーマッター※を使用し、FAT形式でフォーマットしてください。

SDメモリーカードフォーマッター

検索

※SDメモリーカードフォーマッターは検索エンジンで検索してください。

- ・USBメモリーをパソコン等でフォーマットをする場合、パソコン等の画面に表示されるUSBメモリーのアイコンを右クリックしてフォーマットを選び、FAT形式でフォーマットしてください。
- ・市販のものをそのまま用いた場合、データが破損したり、正常に再生が行われない恐れがあります。

□音源ファイルのファイル形式について

	MP3	WMA※1
規格	MPEG-1 Audio Layer-3	Windows Media Audio Ver.9※2
拡張子	.mp3	.wma
サンプリング周波数	32kHz、44.1kHz、48kHz	44.1kHz
ビットレート※3	32k、40k、48k、56k、64k、80k、96k、112k、128k、160k、192k、224k、256k、320kbps	48k、64k、96k、128k、160k、192kbps
チャンネル	モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ	モノラル、ステレオ
ファイルサイズ	2GB以内	
ファイル名・フォルダー名の最大文字数	ファイル名：半角英数字 32文字 フォルダー名：半角英数字 16文字	
ファイル・フォルダーの最大数※4	[CD-R/RW] ファイル数：999 フォルダー数：255	[SD/USB] ファイル数：9999 フォルダー数：999
フォルダー階層の最大数	10階層	
タグ	規格	ID3 タグ Ver.2.2、2.3、2.4※5 WMA タグ※5
	表示する情報	タイトル、アルバム名、アーティスト名
	表示最大文字数	半角英数字 32文字

※1 DRM(デジタル著作権管理)には対応しておりません。

※2 WMA9 Professional / WMA9 Lossless / WMA10以降 には対応しておりません。

※3 上記対応ビットレートの範囲でVBR対応。ただし、可変ビットレート再生時には時間がずれることがあります。

※4 ファイル・フォルダーの最大数を超過すると、正常に動作しません。

※5 ID3タグ・WMAタグとは、MP3ファイルやWMAファイルに音源タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、各タグに対応した機器等で情報を表示させることができます。本機でも、タグ情報のうち、タイトル・アルバム名・アーティスト名を表示させることができます。ID3タグ Ver2.4に関しては、文字コードUTF-8は非対応です。

※上記の条件に合致したもので、CD-R/RW、SDカード、USBメモリーの特性、記録状態などにより、本機では使用できないことがあります。

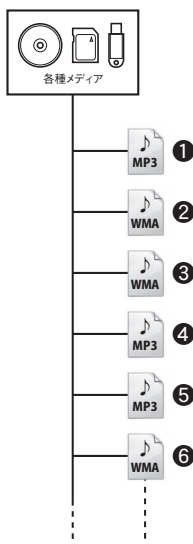
□音源ファイルの再生順について

●フォルダーを作成しない場合

20曲程度でしたらこちらの方法をお勧めします。

メディアに転送された順

例) ※上から転送順です。①＝再生順



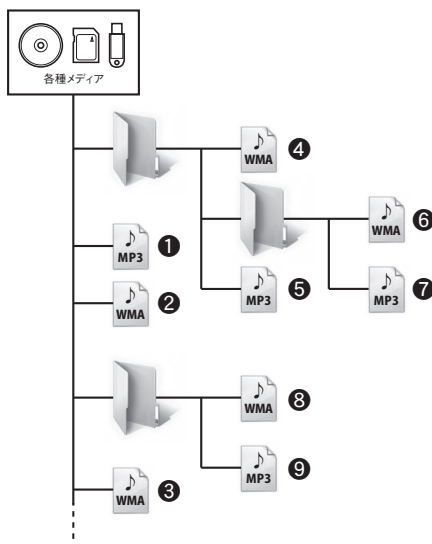
●フォルダーを作成する場合

多数のアルバムを収録する場合はこちらをご覧ください。

- ①メディア直下に転送された音源ファイル
↓
②メディア直下に作成されたフォルダーに転送された音源ファイル
↓
③“②”のフォルダー内に作成されたフォルダーにコピーされた音源ファイル

※フォルダー内での再生順は音源ファイル名ではなく、転送された順になります。

例) ※上から転送順です。①＝再生順



※フォルダーは最大10階層まで対応しています。

※音源ファイルのファイル名やファイル形式(MP3、WMA)は再生順に関係ありません。

※メディアにファイルを転送した後にそのファイルのプロパティ及びファイル名を編集すると、再生順序が変更になる場合がありますので、転送前に編集してください。

※メディアに多くのフォルダーや音源ファイルが収録されている場合、読み込み完了までに時間がかかる場合があります。

各部の名称と説明

再生/一時停止ボタン

メディアの再生を始めるときに押します。再生を一時停止（ポーズ）する、一時停止（ポーズ）から再生を再開するときはこのボタンを押します。

スキップ/サーチボタン（前へ）

曲（トラック）の戻り選択をするときに押します。再生中、このボタンを2秒以上押し続けると曲を早戻しします。

ディスプレイ

操作または動作状態を表示します。P9の説明をご覧ください。

取付穴

P22の組込方法の説明をご覧ください。

USBメモリー挿入口

ダストカバーを外しUSBメモリーを挿入してください。P14の説明をご覧ください。

SDカード挿入口

ダストカバーを外しSDカードを挿入してください。P12の説明をご覧ください。

CD挿入口

CDを挿入します。P10の説明をご覧ください。

切換ボタン

再生するメディアを切り換えるときに押します。

スキップ/サーチボタン（次へ）

曲（トラック）の送り選択をするときに押します。再生中、このボタンを2秒以上押し続けると曲を早送りします。

停止/取出しボタン

再生を停止するときに押します。CDを取り出すときは停止中にこのボタンを押します。また、各々の操作を途中で取り消す（キャンセル）場合はこのボタンを押してください。

音量調節つまみ

音量を調節するときに使用します。

スピード調節つまみ

再生スピードを調節するときに使用します。つまみを押すと元のスピードに戻ります。P20の説明をご覧ください。

プログラムボタン

プログラム再生のプログラム内容を設定するときに押します。P18の説明をご覧ください。

A-Bリピートボタン

A-Bリピート再生の開始点と終了点を設定するときに押します。P17の説明をご覧ください。

リピートボタン

リピート再生やランダム再生をするときに押します。P17の説明をご覧ください。

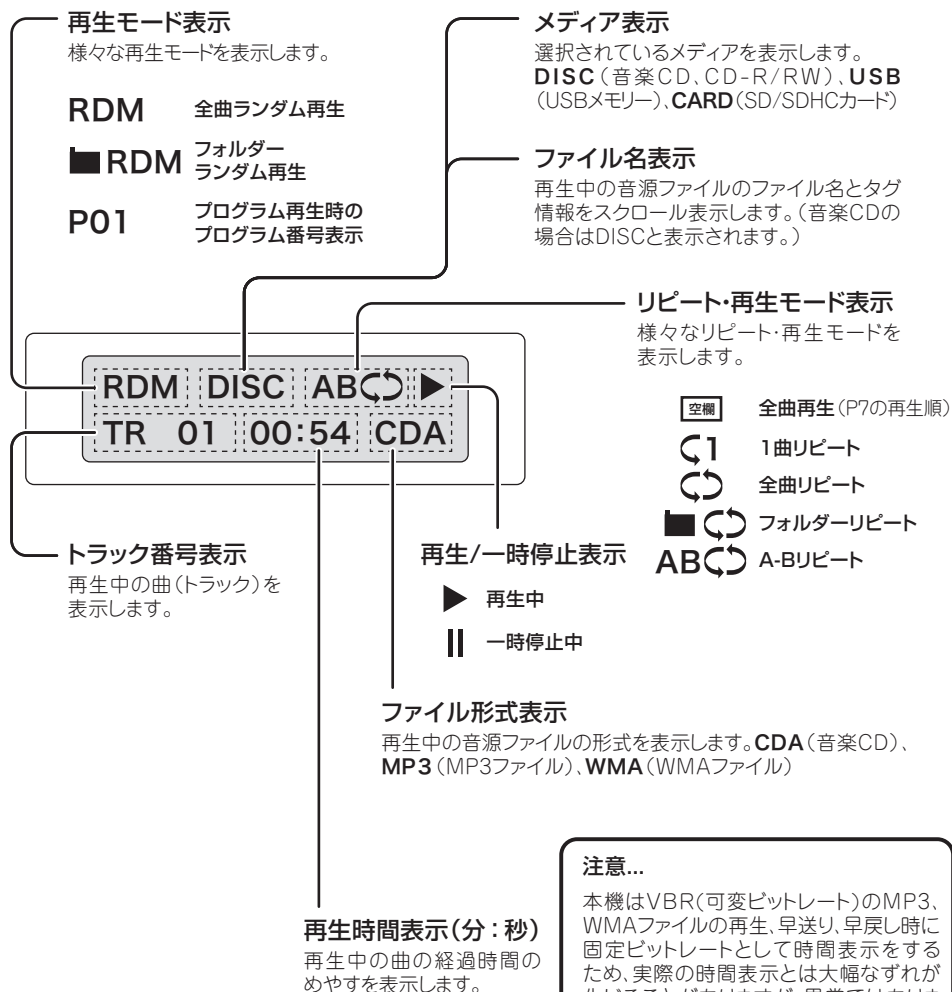
フォルダーボタン

再生するフォルダーを切り換えるときに押します。音楽CDを再生する場合は、使用できません。P16の説明をご覧ください。

(ディスプレイ部の名称と説明)

ディスプレイのバックライトは停止状態、メディア未挿入状態が3分継続すると消灯します。

●再生メディアや再生状態によって表示の仕方や場所が異なります。下記は代表的な表示の説明です。詳しくはP10からの操作方法の説明をご覧ください。



CD再生の仕方

音楽CD、CD-R/RWの挿入から取り出しまで

1.音量を0にする

□本機及び、組込機器の音量を全て0にしてください。



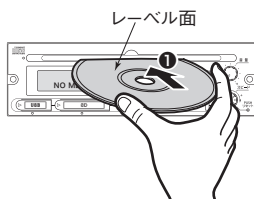
注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が発生され、聴力障害などの原因になることがあります。

2.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、組込機器の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

※メディアが見つからない場合、**[NO DISC]**と表示し、メディアの挿入待ちとなります。

3.CDを挿入する



①CDのレーベル面を上にして、CD挿入口へ挿入してください。

音楽CDの場合、総トラック数及び総再生時間を表示し、停止状態になります。

MP3、WMAファイルの場合、総フォルダー数と総トラック数を表示し、停止状態になります。

※電源が入っていない状態では、CDを入れることはできません。

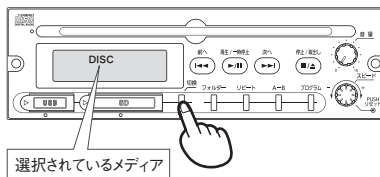
※すでにCDが入っている状態で、CDを入れることはできません。

※シングルCD(8cmCD)は使用できません。取り出せなくなる恐れがあります、使用しないでください。

※他のメディアが選択されている状態でCDを挿入しても、選択中のメディアは切り換わりません。

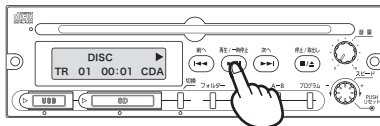
4.再生するメディアを選択する

□切換ボタンを押して、**[DISC]**を選択してください。
押す度にメディアが切り換わります。



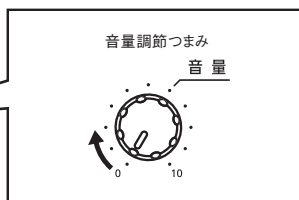
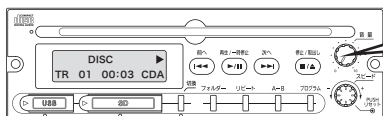
5.再生を開始する

□停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を開始します。



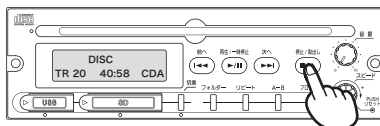
6.音量を調節する

- ☐ 音量調節つまみをゆっくりと回し、適切な音量に調節してください。



7.再生を停止させる

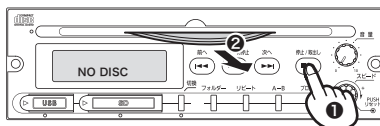
- ☐ 再生中、一時停止中に停止/取出しボタンを押すと、停止状態になります。



8.CDを取り出す

- ① 停止中に停止/取出しボタンを押してください。
- ② CDが排出されますので、まっすぐ引き抜いてください。

※ 停止/取出しボタンでCDを排出した後、そのまま約10秒間放置しますと、自動的にCDを引き込みます。



メモ... SDカード/USBメモリーの再生中にCDを取出したい場合、停止/取出しボタンを3秒以上長押しすると、SDカード/USBメモリーの再生を止めることなく、CDが排出されます。

SDカード再生の仕方

SD/SDHCカードの挿入から取り出しまで

1.音量を0にする

□本機及び、組込機器の音量を全て0にしてください。



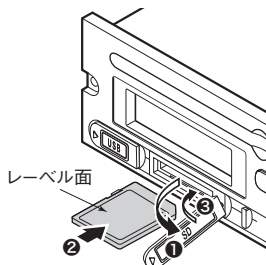
注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が発生し、聴力障害などの原因になることがあります。

2.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、組込機器の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

※メディアが見つからない場合、[NO DISC]と表示し、メディアの挿入待ちとなります。

3.SDカードを挿入する

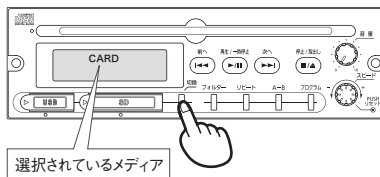


- ①SDカード挿入口のダストカバーを外します。
- ②SDカードの向きに気をつけて、SDカード挿入口へ挿入してください。
総フォルダー数と総トラック数を表示し、停止状態になります。
- ③ダストカバーを取り付けてください。

※他のメディアが選択されている状態でSDカードを挿入しても、選択中のメディアは切り換わりません。

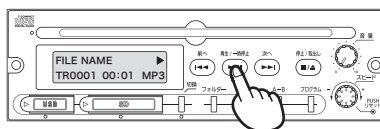
4.再生するメディアを選択する

□切換ボタンを押して、[CARD]を選択してください。
押す度にメディアが切り換わります。



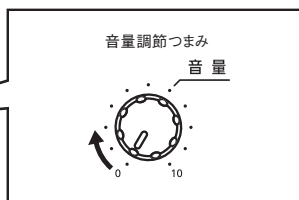
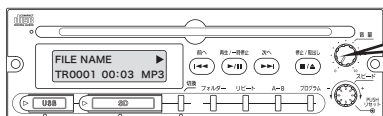
5.再生を開始する

□停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を開始します。



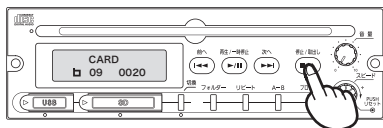
6.音量を調節する

- ☐ 音量調節つまみをゆっくりと回し、適切な音量に調節してください。



7.再生を停止させる

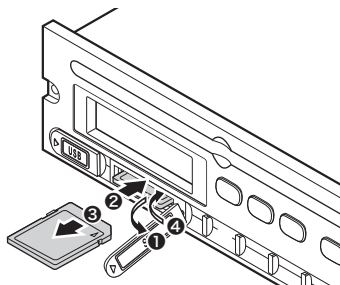
- ☐ 再生中、一時停止中に停止/取出しボタンを押すと、停止状態になります。



8.SDカードを取り外す

- ①ダストカバーを外してください。
- ②SDカードを押し込み、ロックを外してください。
- ③SDカードをまっすぐ引き抜いてください。
- ④ダストカバーを取り付けてください。

※再生中にSDカードを取り外すとデータが破損する場合があります。



USBメモリー再生の仕方

USBメモリーの挿入から取り出しまで

1.音量を0にする

□本機及び、組込機器の音量を全て0にしてください。

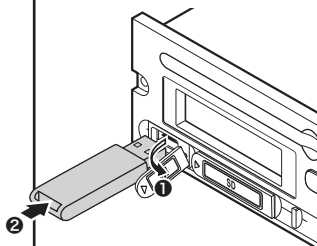
⚠ 注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出来、聴力障害などの原因になることがあります。

2.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、組込機器の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

※メディアが見つからない場合、[NO DISC]と表示し、メディアの挿入待ちとなります。

3.USBメモリーを挿入する



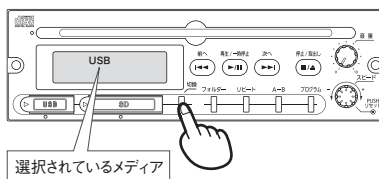
- ① USBメモリー挿入口のダストカバーを外します。
- ② USB端子の向きに気をつけて、USB挿入口へ挿入してください。
総フォルダー数と総トラック数を表示し、停止状態になります。

注意... USBメモリーを対象とします。
携帯音楽プレーヤーなど他のUSB機器は動作しません。
(充電も含めて、本機からの給電は行わないでください。機器の故障を招く場合があります。)

※他のメディアが選択されている状態でUSBメモリーを挿入しても、選択中のメディアは切り換わりません。

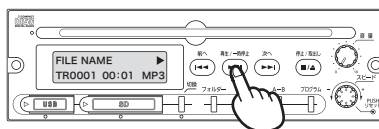
4.再生するメディアを選択する

□切換ボタンを押して、[USB]を選択してください。
押す度にメディアが切り換わります。



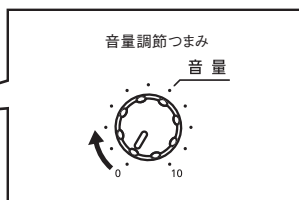
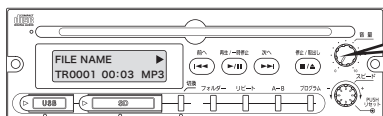
5.再生を開始する

□停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を開始します。



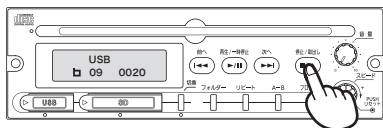
6. 音量を調節する

- ☐ 音量調節つまみをゆっくりと回し、適切な音量に調節してください。



7. 再生を停止させる

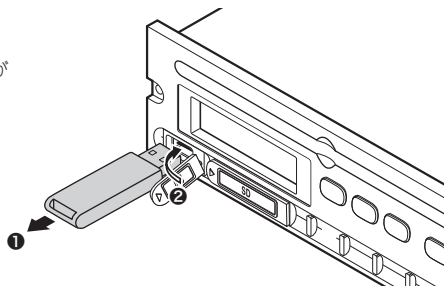
- ☐ 再生中、一時停止中に停止/取出しボタンを押すと、停止状態になります。



8. USBメモリーを取り外す

- ① USBメモリーを引き抜いてください。
- ② ダストカバーを取り付けてください。

※再生中にUSBメモリーを引き抜くとデータが破損する場合があります。

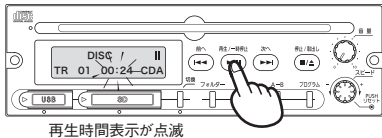


再生の仕方(CD・SDカード・USBメモリー共通)

再生を一時停止(ポーズ)するには

再生/一時停止ボタンを押す

- 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、ボタンを押した位置で再生を一時停止します。一時停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止していた位置から再生を再開します。

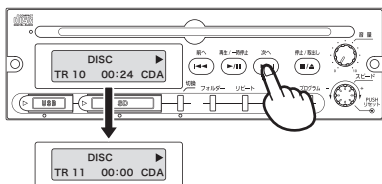


曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン[▶▶]を押す

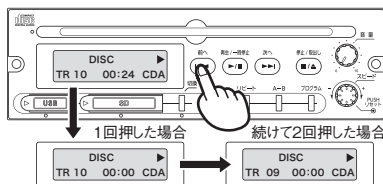
- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[▶▶]を押すと次の曲の頭に移動し再生を開始します。
- 停止中に押すと、次の曲番号が表示が換わります。MP3、WMAファイルの場合、フォルダーボタンを押すことで、フォルダーも切り換えることができます。



●前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン[◀◀]を押す

- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[◀◀]を押すと再生中の曲の頭に戻り再生を開始します。
- 曲の頭でスキップ/サーチボタン[◀◀]を押すと、前の曲の頭へ移動し、再生を開始します。
- 停止中に押すと、前の曲番号が表示が換わります。

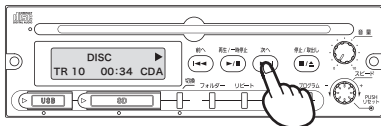


早送り／早戻しするには

●曲を早送りするには

スキップ/サーチボタン[▶▶]を押し続ける

- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[▶▶]を2秒以上押し続けると早送りします。
- スキップ/サーチボタン[▶▶]を離すと、その位置から再生を開始します。



●曲を早戻しするには

スキップ/サーチボタン[◀◀]を押し続ける

- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[◀◀]を2秒以上押し続けると早戻しします。
- スキップ/サーチボタン[◀◀]を離すと、その位置から再生を開始します。

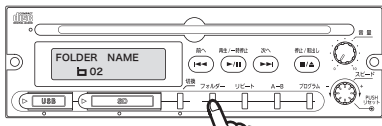


再生するフォルダーを切り換えるには

フォルダーボタンを押す

- 再生中にフォルダーボタンを押すと、次のフォルダー内の一曲目を再生します。
- 停止中に押すと次のフォルダーに表示が切り換わります。

※ランダム再生時、フォルダーの切り換えはできません。

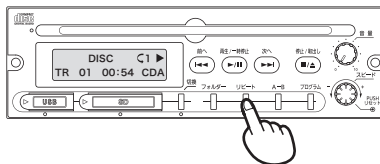
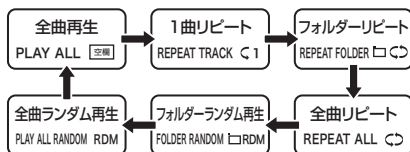


リピート・ランダム再生の仕方

リピート・ランダム再生するには

リピートボタンを押す

□リピートボタンを押す度に、下図のようにリピート・ランダム再生が切り換わります。



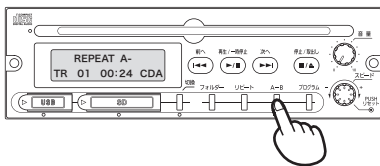
再生モード	説明
全曲再生	メディア内の曲を全て再生した後、停止します。
1曲リピート	再生中の曲を、繰り返し再生します。
フォルダーリピート	フォルダー内の曲を全て再生し、一巡すればフォルダー内の先頭の曲へ戻り再生を継続します。
全曲リピート	メディア内の曲を全て再生し、一巡すれば先頭の曲へ戻り再生を継続します。
フォルダーランダム再生	フォルダー内の全ての曲をランダムに再生し、一巡すると停止します。
全曲ランダム再生	メディア内の全ての曲をランダムに再生し、一巡すると停止します。

※音楽CD再生時は、フォルダーリピート及びフォルダーランダム再生はありません。

指定した部分を繰り返し聴くには(A-Bリピート再生 ABC)

①A-Bリピートボタンを押す (開始点の設定)

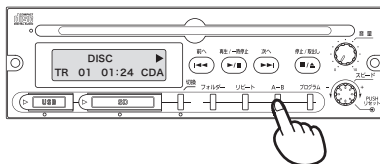
□再生中、繰り返したい部分の開始点でA-Bリピートボタンを押します。



●A-Bリピート再生を解除するには

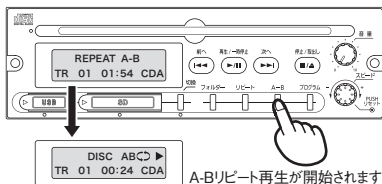
A-Bリピート再生中にA-Bリピートボタンを押す

□ディスプレイの“ABC”が消えてA-Bリピート再生が解除され通常の再生に戻ります。



②A-Bリピートボタンをもう一度押す (終了点の設定)

□繰り返したい部分の終了点でA-Bリピートボタンを押します。



※A-Bリピートは、最終曲から先頭曲への設定や、その他のリピート設定との同時設定はできません。

※開始点設定後からA-Bリピート再生中のスキップ操作では、開始点と終了点を越える曲の移動はできません。

また、早戻し/早送りを行うと、正常にリピート再生が行われない場合があります。

プログラム再生の仕方

プログラム再生するには

□最大64曲までお好みの順番で登録し、再生することができます。ディスプレイ表示を参考に以下の手順でプログラムの登録、確認、変更等を行ってください。

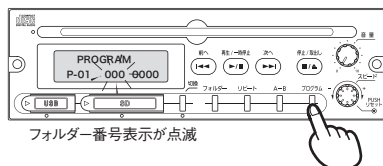
メモ... 20秒操作しない、またはプログラムボタンを1秒以上長押しすると、プログラム登録内容を残したまま、プログラム再生モードを抜けます。ただし、登録中・編集中の内容は破棄されます。再度編集を行う場合は、プログラムボタンを押してください。

●音楽CDの場合 ※フォルダーに関する表示・手順はありません。 ●MP3、WMAファイルの場合

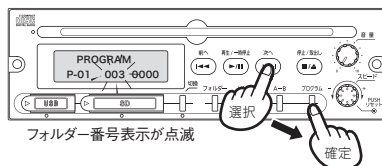


プログラムを登録する

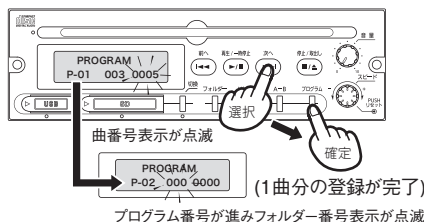
①停止中にプログラムボタンを押す



②スキップ/サーチボタンを押し、プログラムしたい曲のフォルダー番号を表示させ、プログラムボタンで確定します。



③スキップ/サーチボタンを押し、プログラムしたい曲番号を表示させ、プログラムボタンで確定します。

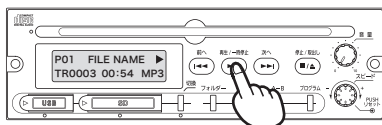


④登録したい曲数だけ、②、③の手順を繰り返します。(最大64曲まで登録可能)

※音楽CDの場合は、②の手順は行いません。また、曲番のみの選択となりますので、フォルダー番号表示は点滅しません。

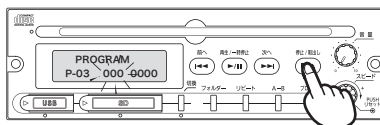
プログラム再生をする

□プログラムの登録完了後、再生/一時停止ボタンを押すと、プログラムした曲順で再生します。



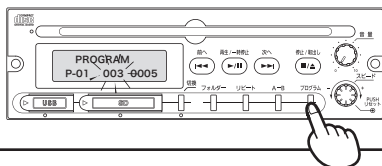
プログラム再生を停止する

□プログラム再生中に停止/出だしボタンで再生を停止できます。また、上記“プログラムを登録する”の①の状態に戻ります。



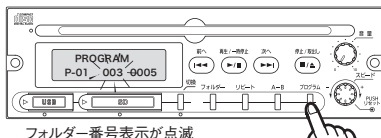
プログラム内容を確認する

- 左記“プログラムを登録する”の③で登録完了後、プログラムボタンを押すと、プログラムの確認ができます。プログラムボタンを押す毎に登録した順に曲番号を表示していきます。

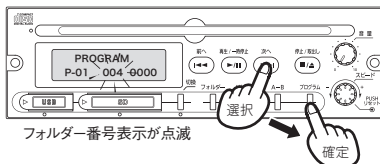


プログラム内容を変更する

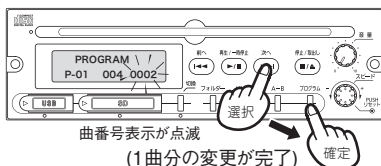
- ①プログラムボタンを押して変更したい曲番号を表示させます。



- ②スキップ/サーチボタンを押してフォルダー番号を変更し、プログラムボタンで確定します。



- ③スキップ/サーチボタンを押して曲番号を変更し、プログラムボタンで確定します。(変更完了)



- ④修正したい曲数だけ、①～③の手順を繰り返します。

※音楽CD再生時は、②の手順は行いません。また、曲番のみの選択となりますので、フォルダー番号表示は点滅しません。

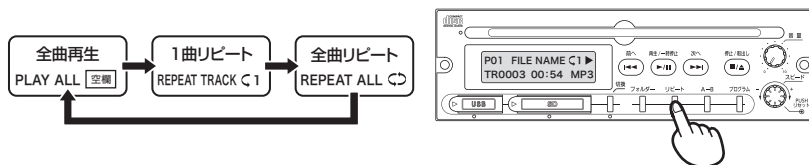
プログラム内容を消去する

- 以下の操作をすると、プログラム再生モードから抜けて、プログラム登録した内容が消去されます。

- プログラムの登録、確認、変更中に、停止/取出しボタンを押す。
- 切換ボタンを押す。
- プログラム登録を行ったメディアを抜く。
- 組込機器の電源をOFFにする。

プログラム再生中にリピート再生を切り換える

- リピートボタンを押す度に、下図のようにリピート再生が切り換わります。



再生モード		説明
全曲再生	空欄	プログラム登録した曲を全て再生した後、停止します。
1曲リピート	C1	再生中の曲を、繰返し再生します。
全曲リピート	C2	プログラム登録した曲を全て再生し、一巡すれば先頭の曲へ戻り再生を継続します。

※プログラム再生中は、複数曲間のA-Bリピートを設定できません。また、A-Bリピート再生中に早戻し/早送りを行うと、正常にリピート再生が行われない場合があります。

再生スピードの調節の仕方

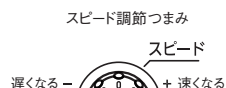
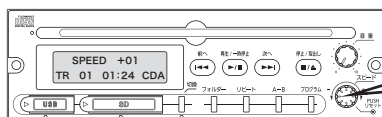
再生スピードを調節するには

スピード調節つまみを回す

□スピード調節つまみを回し、再生スピードを調節します。

時計回りに回すと、再生スピードは速くなります。

反時計回りに回すと、再生スピードは遅くなります。



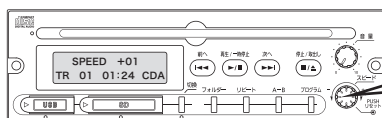
◇曲の再生スピードは±10段階に調節することができます。

※スピード調節と同時に音程も変化します。

再生スピードを元に戻すには

スピード調節つまみを押す

□スピード調節つまみを押すと元のスピードに戻ります。



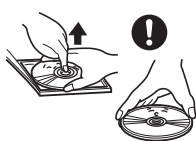
※電源を切る、または選択しているメディアの挿抜や切換を行うと、再生スピードはリセットされます。

著作権法について

- あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

コンパクトディスク(CD)について

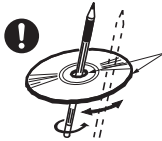
コンパクトディスクの取扱かた



- 保護ケースからコンパクトディスクを取り出す場合、図のようにケース中心部を押し、コンパクトディスクの両端を持ってください。また、ディスク面には直接手を触れないようにしてください。

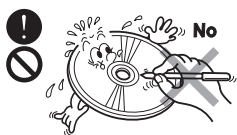


- コンパクトディスクを拭く場合は、乾いた柔らかい布で図のように、中心から外に向かって拭いてください。

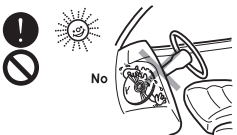


- 新しいディスクには、ディスクの周囲に“バリ”が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

コンパクトディスク使用上の注意



- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどでキズをつけないでください。



- コンパクトディスクは熱に弱いので、直射日光のあたる場所やヒーターなどの近くに置かないでください。



- コンパクトディスクは、きれいなものをご使用ください。もし、汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使用しないでください。



- 大きいキズ、変形、ヒビなどがあるコンパクトディスクは使用しないでください。誤動作や故障の原因となる場合があります。



注意 市販のCD保護シートや、スタビライザーなどを装着したディスクは使用しないでください。メカニズム内部で引っかかりなどが発生し、ディスクを傷つける場合があります。

ご使用になる前に

■ご確認事項

1. 本機は“”表示のあるコンパクトディスク12cm以外のご使用はできません。CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますのでご注意ください。

■取扱上のご注意

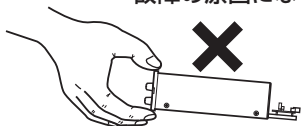
1. 冷えた場所から急激に温度が高くなる場所へ移動し、すぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が結露して正常な動作をおこなわないことがあります。ディスクが結露しているときは、柔らかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくとして自然に結露がとれ正常に動作します。
2. 本機を傾けた状態で使用すると正常に動作しないばかりでなくメカニズム内部で引っかかりなどが発生し、ディスクに傷を付ける場合があります。
3. CD挿入口からのディスクの出し入れは無理におこなわないでください。本機の故障やディスクに傷を付ける恐れがあります。
4. ディスク走行中あるいはディスクをイジェクトしている状態で電源スイッチを切ったり、ACプラグを抜いたり、DC電源の電圧が異常に低下したりしますと、ディスクが取り出せなくなることがあります。いったん電源スイッチを切り、ACプラグをコンセントに差すか、乾電池を交換して、電源スイッチを入れてディスクを取り出してください。

組込方法

⚠ 警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

CDプレーヤーユニット後部の基板には触れない。
故障の原因になることがあります。



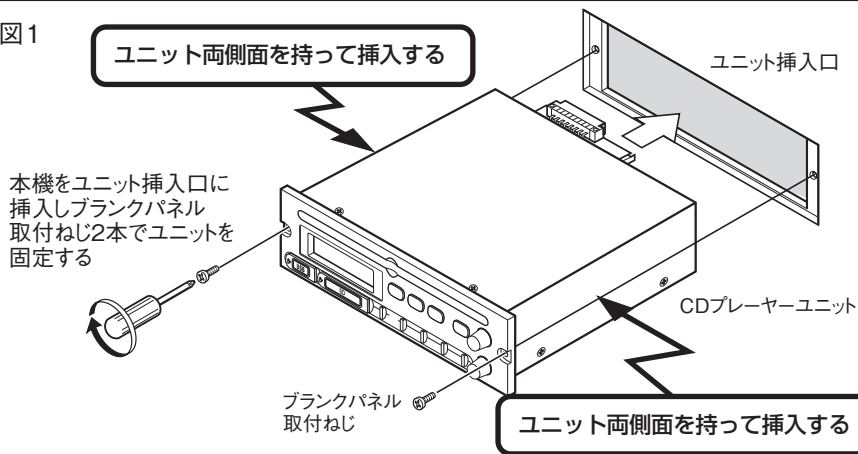
CDプレーヤーユニットを持つときは、前面パネル部だけを持たないでください。前面パネル部が外れ、故障の原因になることがあります。

1. 本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口ブラックパネルを2本の取付ねじをはずし取り除いてください。
2. 本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、軽く押し込んで本機の接続コネクタを挿入口内部のコネクタに接続してください。
3. 本機をブラックパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図1参照)

ご確認 ● 本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクタが組込機器側のコネクタに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

- ・ 本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

図1



自動電源制御機能について

● 本機には電源の「入／切」を外部から制御できる自動電源制御機能があります。組込機器にFM/AMラジオチューナーユニット AU-100が一緒に収納されている場合は AU-100の電源が入れば本機の電源は自動的に切れます。本機を使用される場合は AU-100の音量調節つまみ(電源スイッチ兼用)を必ず「切」位置にしてください。

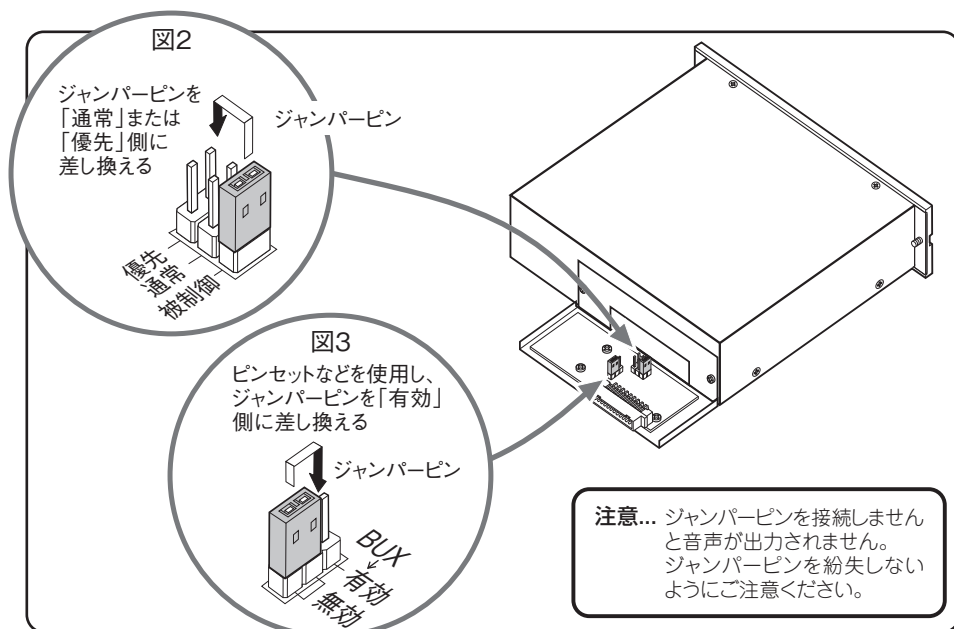
設定の変更の仕方

「被制御」から「通常」または「優先」に変更する場合

- 本機は組込機器本体のオートマチックフェーダー回路のはたらきで自動的に音量が減衰する「被制御」に設定されています。自動的に音量が減衰しない「通常」で使用される場合は本機後部の基板上のジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。または本機の動作により被制御に設定された機器の音量を自動的に減衰させる「優先」で使用される場合は「優先」側に差し換えてください。(図2参照)
- 工場出荷時にジャンパーピンは「被制御」に設定しています。

BUX-100へ組み込む場合

- 本機後部の基板上のジャンパーピンをBUX接続「有効」側に差し換えてください。(図3参照)
- 工場出荷時にジャンパーピンはBUX接続「無効」に設定しています。



制御ユニットからの制御について

- 本機はプログラムチャイムユニットなどの制御ユニットからの制御には対応しておりません。制御をご希望される場合は、制御機能に対応している製品をご使用ください。

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

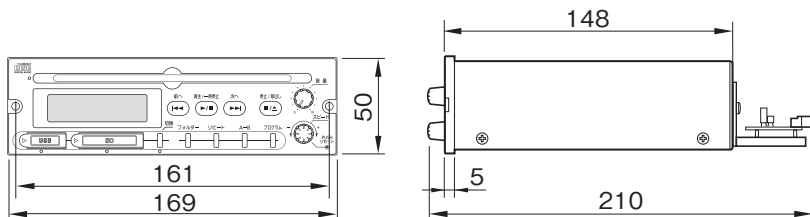
	症 状	点 検 項 目【表示部】	対 策
全般	プログラムチャイムユニットで制御できない	本機は制御機能に対応しておりません。	制御機能に対応している製品をご使用ください。
	全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	演奏時間は進んでいるが音声が出てこない	音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	曲名などが文字化けして表示される	全角文字で入力していませんか?	半角英数字で入力してください。
		ID3タグのバージョンがID3v2.4になっていませんか? もしくは、曲名などを入れる際、文字コードの設定が「UTF-8」になっていませんか?	ID3タグのバージョンをID3v2.3にして、曲名などを入れてください。 また、曲名などを入れる際、文字コード設定は「UTF-16」で入力してください。
	曲をスキップできない	A-Bリピート設定中ではありませんか?	A-Bリピート設定を解除してください。
CD	全く動作しない CDを認識しない 再生できない	早戻し/早送りを行っていますか?	A-Bリピート再生中は早戻し/早送りをしないでください。
		プログラム再生中に、複数曲間のA-Bリピートを設定しようとしていませんか?	プログラム再生中は、複数曲間のA-Bリピートを設定できません。プログラム再生モードを抜けるか、同じ曲内でA-Bリピートを設定してください。
		CDが入っていますか。 [NO DISC]	CDを挿入してください。
		CDを裏表逆に入れていませんか。 [ERROR] [NO FILE]	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	CDが入らない	CD-R/RWに転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか。 [NO FILE]	MP3、WMA形式の音源ファイルを使用してください。P6の説明をご覧ください。
		メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過していませんか。 [OVER FILE] [OVER FOLDER]	メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過ないようにしてください。P6の説明をご覧ください。
		本機の中にCDが入っていませんか。 ディスプレイに[ERROR]が表示されていませんか。	停止/取出しボタンを押して、CDを取り出してください。 CDが途中で引っ掛かっているため、挿入が完了していません。停止/取出しボタンを押してCDを排出し、再度挿入してください。
	CDが取り出せない	極端な電源変動による誤動作、または機構の誤動作。	取り出せないときは販売店などへご相談ください。 ドライバーなどで無理に取り出さないでください。
	音飛びする ノイズが入る	CDが汚れている。	CDを柔らかい布で拭いてください。
		CDに傷やそりがある。	傷やそりの無いCDに交換してください。
		CD-R/RWを使用していないですか。	データ書込みの状態、及び使用メディアの条件などにより、正常に再生できない場合があります。正常に再生できるものと交換してください。

	症 状	点 検 項 目【 表 示 部 】	対 策
SD	全く動作しない SDカードを認識しない 再生できない	SDカードが入っていますか。 [NO CARD]	SDカードを挿入してください。
		SDカードに転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか。 [NO FILE]	MP3/WMA形式の音源ファイルを使用してください。P6の説明をご覧ください。
		SDカードのフォーマット形式は正しいですか。 [NO FILE]	P6に従ってFAT形式でフォーマットしてください。(NTFS/exFATは非対応です)
		メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過していませんか。 [OVER FILE] [OVER FOLDER]	メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過ないようにしてください。P6の説明をご覧ください。
	SDカードが入らない	本機の中にSDカードが入っていませんか。	SDカードを取り出してください。
		SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
USB	全く動作しない USBメモリーを認識しない 再生できない	USBメモリーが入っていますか。 [NO USB]	USBメモリーを挿入してください。
		USBメモリーに転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか。 [NO FILE]	MP3/WMA形式の音源ファイルを使用してください。P6の説明をご覧ください。
		USBメモリーのフォーマット形式は正しいですか。 [NO FILE]	P6に従ってFAT形式でフォーマットしてください。(NTFS/exFATは非対応です)
		パスワードロック機能付のUSBメモリーを使用していませんか。 [NO FILE]	パスワードロック機能無しのUSBメモリーを使用して下さい。
		USBメモリー以外を入れていませんか。 [USB-SPEC OVER PLEASE REMOVE] ※点滅表示する場合があります。	そのUSB機器を外してください。 外しても元に戻らない場合は販売店などへご相談ください。
		メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過していませんか。 [OVER FILE] [OVER FOLDER]	メディア内のファイル・フォルダー数が最大数を超過ないようにしてください。P6の説明をご覧ください。
	USBメモリーが入らない	USBメモリーのUSB端子の向きを逆に入れていませんか。	USB端子の向きを確認し、向きを合わせて挿入してください。

定格

電 源 電 圧	DC12V 組込機器本体より受電
消 費 電 流	300mA以下(12V)
表 示	動作表示 : 液晶表示 バックライト: 発光ダイオード 黄緑
適 合 C D	音楽CD及びCD-R/RW ※12cmのみ、8cmは非対応
適 合 S D カード	SDA準拠SD/SDHCカード(容量32GBまで) ※SDXCは除く
適 合 U S B メモリー	USBマストストレージクラス準拠USBメモリー(容量32GBまで)
フ ァ イ ル シ ス テ ム	CD-R/RW : UDF1.02(シングルセッションに対応) SD/USB : FAT16, FAT32
ファイル保存最大数	音楽CD : 99 MP3/WMA : 999(CD-R/RW)、9999(SD/USB)(メディアの容量、および、ファイルに依存)
フォルダー識別最大数	MP3/WMA : 255(CD-R/RW)、999(SD/USB)(ルートディレクトリを含む)
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)、WMA形式(Windows Media Audio Ver.9)
再生ビットレート	MP3形式32kbps~320kbps、WMA形式48kbps~192kbps
周 波 数 特 性	20Hz~20kHz
再生スピードコントロール	-15%~+15%可変
S / N 比	80dB以上
ダイナミックレンジ	80dB以上
ひ ず み 率	0.1%以下
選 曲	前後1曲、次フォルダー先頭曲
定 格 出 力	音声出力 : 0dBV $\pm$ 3dB 10k Ω
付 帯 機 能	ギャップレス再生機能(ノンストップミックスCDのみ)、リピート選択(1曲リピート、フォルダーリピート、全曲リピート、フォルダーランダム、全曲ランダム、A-Bリピート)、プログラム再生、音量調節、スピードコントロール、経過時間表示、一時停止、スキップ機能、早送り早戻し機能、プログラム登録・編集・消去機能、自動バックライトオフ機能
使用温度範囲	0℃~+40℃
外 装	パネル : (ABS樹脂)黒色半艶塗装
寸 法	幅 169mm 高さ 50mm 奥行 210mm
質 量	約 1.2 kg
付 属 品	取扱説明書(保証書付) 1

外観寸法図 (単位 : mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品 名 ②品 番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードに
アクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245 (通話料無料)

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

CDプレーヤーユニット AU-204 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日(よ) 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。
- ⑧CDの使用時間が1,500時間を超えた場合の故障および損傷。

CD-R/SDカード/USBメモリーの曲目(ファイル名)やプログラム登録された内容を下表に記録してご使用ください。内容の変更が予測される、曲目が多いなどの場合はコピーしてご利用ください。

プログラム番号

PROGRAM

P-01 000 0000

No.

CD-R/SDカード/USBメモリー名称:

No.

RKTAU204-H0-2